京城日報

保存用

戰力增强の急を御昭示

畏し・地方長官に御異例の御言葉

宮内省發表

戰局危急皇國ノ興廢懸ツテ今日ニ在リ汝等地方長官宜シク一層奮勵衆ヲ率ヰ官民一體戰力ヲ物心兩面ニ充實シ以テ皇運ヲ扶翼スベシ

聖慮に應へ奉らん

内務大臣謹話

地方長官會議開く

けふ地方行政協議會長會議

一億一丸戰力增强、時の發揚こそ急務

皇國護持へ百難突破

小磯首相訓示

小磯首相

一、時局下當面の急務

二、國體護持

三、生産の急速增强

四、國土防衛

五、庶政敎務の刷新

地方事情奏上書を捧呈

社說

醫の仁術に還るべき道

重責達成に挺身

西尾都長官感激の發言

西尾都長官

小磯首相發言要旨

食糧確保に萬全

島田農商相、對策を明示

島田農商相

食糧增産の徹底

蔬菜魚介など副食品の確保

責務重大を痛感

大野慶南、中原江原兩知事談

大野慶南知事談

中原江原知事談

衡陽西北方へ進擊

武義東南でも激戰展開

ハルマヘラに敵執拗

マノクワリに延八十機來襲

食糧課長會議

血戰録

駐蒙大使 山本熊一氏

大東亞次官に竹内氏

情報局發表

任特命全權大使

内閣辭令

中將に進級

志摩、水上兩少將

陸海軍辭令

腋臭 わきが

B・M・T ビーエムテー

視力强化に 勤勞戰士の保眼藥！

明眼水

科學雜誌 科學時代 ¥55錢

新刊 朝鮮史研究

新刊 朝鮮の救荒植物

新刊 進め少國民

新刊 決戰詩集

東都書籍株式會社

主婦之友 九月號

敵機來襲 前後の五分間

家庭の食糧生産

日本一の女子工場 ○○海軍衣糧廠

小説 女の一生 二人の女性が描く

廿四日封切

若草劇場 寶城 明治

兵器研究に死の完成
一躍二階級特進
大段政春氏理學博士に

恩典に只なみだ
母堂はなさんは語る

敵十機撃墜す屠るまでは死なぬ

全靈打込む索敵
隊長は自爆、部下が達成

一日戰死貯蓄
山口縣下松在
住宇島同胞

能率は大人の半分
少國民、夏休勤勞の戰果

戰列への若人に伊勢の護符

東丘女子商專校生徒の奉仕作業

思ひ切り働けるわ
「女子勤勞令」乙女らの喜びと決意

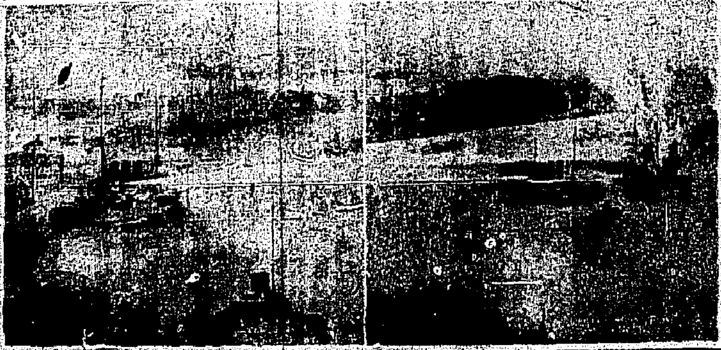
新しい管制法
三燭光程度はよし
燈火指導に注意を喚起

第三回割增金附預金當り籤

関東商工新報

木田財務局長談

出來るぞ砂糖の代用品
甘蔗、専賣課で研究に着手



十二月八日の黃浦江上

大東亞戰争美術展 廿十日まで

勝ち抜く爲の節煙だ
專賣局

十萬圓を突破
協和會の獻金

府民帖
勤勞報國隊の壯行式
徵用工員壯行會
一片の金屬の供出に
學校給食の大釜揃ふ
夏枯れ對策に鯖乾魚
千田氏全南へ出發

サイパンの仇討に白金を
男爵夫人が獻納

半島女子勤勞隊の現況報告
先生も負ける熱意
歸鮮の時は立派なお嫁さん

田中早大總長

時計の修理は 村木

特火點

放送

海への書
もう一つの戰ひ(一)
李無影 作
鄭玄雄 畫

現株仲値

朝鮮飛行機工業株式會社株式公募

設立ノ趣意	
資本總額	金五千萬圓
公募株數	拾五萬株
壹株ノ金額	金五拾圓
申込單位	拾株及其ノ倍數
申込證據金	金五圓
申込期間	自昭和十九年八月卅日 至昭和十九年九月一日
募入決定方法	
第壹回拂込金	
第壹回拂込期日	
株主配當見込	年
申込及拂込取扱所	
發起人氏名	

京城府鍾路區鍾路二丁目五番地(和信ビル内)
朝鮮飛行機工業株式會社 創立事務所

佐野周二 還って來た男
田中絹代
本 廿四日 封切
大陸劇場 京城映劇 明治座

解散公告
朝鮮織物工業組合聯合會

社員解雇廣告
富士工藝社

朝日座 / 京日文化 / 光武劇場 / 永寶 / 新富座 / 喜樂館 / 大陸劇場
若人よ海へ / 日本ニュース / 文化映畫 / 見えざる戰力 / 阿修羅 / 還って來た男 / 海峽の風雲兒 / 上海特別陸戰隊 / 誓ひの合唱 / 日本ニュース / 常に戰場に在り / 休館

桃花劇場 / 浪花館 / 中央劇場 / 城寶 / 明治座 / 第一劇場 / 若草劇 / 城南劇場 / 京劇 / 和信映畫館 / 東洋劇場
海賊旗吹き飛ぶ / 日本ニュース / 白衣 / ハワイマレー沖海戰 / 小太刀を使ふ女 / 還って來た男 / 高砂族 / 日本ニュース / 桃太郎 / 還って來た男